

学校運営委員会だより

第2号 事務局（通算156号）

運動会が終わり、運動会一色だった子どもたちの生活が通常の生活に戻った6月3日（火）に、第2回目の「学校運営委員会」が開催されました。今回は、終わったばかりの運動会の話をし、その後委員による意見交換が行われました。

令和7年度 学校運営委員・事務局の紹介（敬称略）

〈委員長〉細越 淳二（国土舘大学 教授）	佐藤 芳秋（学校支援コーディネーター）
戸崎 啓一（元PTA会長）	
廣川 哲（地域関係者）	吉田 太一（オヤジの会会長）
佐々木 潤（元オヤジの会会長）	中村 千里（PTA会長）
佐藤 弘典（本校 校長）	
〈事務局〉寺西 智恵（副校長）	金井 雅弘（主幹教諭）
	小関 智子（主幹教諭）

【学校運営委員会報告】

1 校長あいさつ

運動会が無事に終わりました。児童同士がお互いをリスペクトし合い、「つながり」がよく見えた運動会でした。PTA、おやじの会のご協力で最後はみんなで片付けをしてくださるなど、みんなでできた運動会だったと思います。来年度はどういう形かわからないけれど、この方向性でいきたいと思います。

2 PTA 会長

保護者の方の中には、運動会が午前中になったことや秋の陸上記録会と分けたことの理由をご理解いただけていない方もいることがわかりました。丁寧に伝えていかないと理解がしみ込まないと思いました。

3 意見交換

〈運動会について〉

○半日開催することについて、1日でやらないのかという意見がある。

- ・近年の気候の状況ではお昼をまたいで開催は無理である。秋の開催でも気候と他の行事との関係があって難しい。

○運動会を春、陸上記録会を秋と分けることの理由がまだ十分に伝わっていないのではないかな。

- ・春の開催を決めているが、入学から2ヶ月足らずで充実した運動会を行うには、練習期間が足りない。そこで、「走」にかかる内容を秋として、児童の走力の向上を図る活動を秋までに行う。その集大成として10月の「陸上記録会」を設定した。春の運動会では、体力の向上のみならず、「仲間づくり」をねらいとした。
- ・児童は私たちが思う以上に達成感を感じていた
- ・「走るときは主役」という児童もいる。順位をつけることがよいときもある。

○会場について、保護者の動線が一方通行ではなかったが、混乱なく、これでよかった。

- ・児童席の後ろが通れない。
- ・児童の椅子がなかったことについて。運動会を午前に納め児童の活動時間を確保するために削れる時間を考えて、今年は椅子なしで行った。
- ・椅子なし、椅子ありについて、教員でも話し合ったし、ご意見もいただいた。来年度度のようにするか検討する。

〈その他〉

○豪徳寺に向かってインバウンドの外国の方が多くいらしている。

- ・茶道部などが旅行者に向けてに何かの取り組みをしたら双方にとって良い学びの機会になるのではないかな。
- ・小学校も外国の方と関わる活動ができたらどうか。

4 次回開催日程

7月1日（火）18:00～